ISSN 1348-4001

京都大学構内遺跡調査研究年報

２０２３年度

２０２４

京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター
京大文化遺産調査活用部門

京都大学構内遺跡調査研究年報

２０２３年度

２０２４

京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター

序

本年報は，文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センターの京大文化遺産調査活用部門がおこなった京都大学構内に残る遺跡の調査のうち，2023年度に整理の終了したものについて，その成果をまとめたものである。

第Ⅰ部で報告する２件の発掘調査のうち，医学部構内の調査は，2021年の12月から2022年の５月にかけて実施されたもので，その成果の概要は昨年度の年報で報告済みである。今回の報告では，整理時間の都合上，報告から漏れた縄文土器～古代までの遺構・遺物を報告している。これらも当地の土地利用を考える上で重要な資料である。病院構内の調査では，18世紀代の遺構・遺物とともに安定した遺物包含層の堆積を確認することができた。調査地点は病院構内の西南にあたるが，18世紀以降に本格的な開発が始まるという周辺の調査での調査成果を補強する成果を得ることができた。

第Ⅱ部の紀要は，「塩壺（しおつぼ）」と俗に呼ばれてきた鉢形土師器の論考の後半部分にあたる。資料を悉皆的に集成し，年代的変遷，分布，用途・機能など，考古学的に基礎的な分析をおこなっている。第Ⅰ部・第Ⅱ部ともにご高覧いただき，ご批評・ご意見をいただければ幸甚である。

本学総合博物館と連携し，当部門の社会的発信事業の一つとして始めた研究成果の展示（「文化財発掘」）は，2023年３月～５月にかけて，「京都白川の巨大土石流」と題して第９回目を開催した。第10回の節目となる今回は，「比叡山麓の縄文世界」を３月６日～６月９日の会期で開催する。また，2021年度末に終了した「白川道」に係わる研究プロジェクトを引き継いで，2022年度からは，「白川道」に関する研究成果を基礎にして，「都市化」という観点より，地域の歴史的な推移や意義などについて明らかにする，新たな研究プロジェクトを始めている。その研究の一環として，2023年12月には北部構内で幕末土佐藩邸の堀跡の確認を目的とした試掘調査を実施した。今後もこうした部門の活動に，各方面からのご支援とご協力をお願いする次第である。

2024年３月

京都大学大学院文学研究科附属
文化遺産学・人文知連携センター長
磯 貝 健 一

例　　言

1　本年報は，京都大学構内で2023年４月１日から2024年３月31日までに発掘，整理作業をおこなった埋蔵文化財調査と保存の報告，および京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター京大文化遺産調査活用部門における研究成果をまとめたものである。

2　国土座標にしたがって一辺50ｍの方形の地区割りをして，遺跡の位置を表示した。

3　層位と遺構の位置については，世界測地系国土座標平面直角座標系（第Ⅵ系）により表示した。

4　遺構の略号は，奈良文化財研究所の方式にしたがって，井戸：ＳＥ，土坑：ＳＫのように表示し，各調査ごとに通し番号を１から付した。

5　遺物には，遺跡の調査名を示すローマ数字と，調査ごとの通し番号を１から付した。この遺物番号は，本文，実測図，写真を通じて表示を統一した。

Ⅰ：京都大学北部構内ＢＣ33区の立合調査

Ⅱ：京都大学医学部構内ＡＭ20区の発掘調査

Ⅲ：京都大学病院構内ＡＧ11区の発掘調査

（例　Ⅰ１：京都大学北部構内ＢＣ33区立合調査出土遺物１番）

6　原則として，遺物の実測図は縮尺1/4，遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のものは，それぞれに縮尺を明記した。

7　参考文献は，本文中に〔著者名　発表年〕の形式で表わし，巻末に一括した。

8　古代・中世土師器の型式分類は，とくにことわりがない場合，『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ』（1981年）にしたがっている。

9　本文の執筆者名は各章の初めに列記した。また，遺構・遺物の撮影は原則として，それぞれ報告者が担当した。

10　編集は，千葉豊が担当し，伊藤淳史，笹川尚紀，磯谷敦子，柴垣理恵子，長尾玲が協力した。

11　2023年度の京大文化遺産調査活用部門内の組織は以下の通りである。

部　門　長：吉川　真司（文学研究科教授）
教　　員：千葉　豊，伊藤　淳史，笹川　尚紀
教務補佐員：磯谷　敦子，長尾　玲，柴垣　理恵子
事務補佐員：髙山　典子（2023年10月31日まで）

京都大学構内遺跡調査研究年報　2023年度

目　　次

第Ⅰ部　2023年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第１章　2023年度京都大学構内遺跡調査の概要 ･････････････････････ 1

１　調査の概要･･･1

２　調査の成果･･･1

３　北部構内ＢＣ33区の立合調査･････････････････････････････････2

第２章　京都大学医学部構内ＡＭ20区の発掘調査Ⅱ ･････････････････ 5

１　調査の概要･･･5

２　縄文時代の遺構と遺物･･･････････････････････････････････････6

３　弥生時代～古代の土器･･･････････････････････････････････････10

第３章　京都大学病院構内ＡＧ11区の発掘調査 ･････････････････････ 17

１　調査の概要･･･17

２　層　　位･･･18

３　遺　　構･･･20

４　遺　　物･･･22

５　小　　結･･･24

参考文献 ･･･ 27

京都大学構内遺跡のおもな調査 ･････････････････････････････････ 30

報告書抄録 ･･ 41

第Ⅱ部　京都大学大学院文学研究科附属
文化遺産学・人文知連携センター
京大文化遺産調査活用部門紀要Ⅴ

「塩壺」と俗称されている鉢形製品の検討（下）

5　資料の集成と検討 (2) －その他の地域－ ……45

6　製品の系譜と機能について……53

7　まとめと課題……57

図　　版 …… 巻末

図　版　目　次

図版１　京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点
図版２　京都大学医学部構内ＡＭ20区
縄文土器
図版３　京都大学医学部構内ＡＭ20区
弥生土器，須恵器
図版４　京都大学病院構内ＡＧ11区
１　表土除去後全景（東から）
２　黒褐色土除去後全景（東から）
図版５　京都大学病院構内ＡＧ11区
１　淡褐色土除去後全景（東から）
２　集石ＳＸ１検出（南から）
３　調査区東北角砂礫層落ち込み確認状況

挿　図　目　次

京都大学北部構内ＢＣ33区の立合調査
図１　調査区の位置・・・・・・・・・・・・・・・・・3
図２　立合調査の状況・・・・・・・・・・・・・・・3
図３　調査地点層序模式図・・・・・・・・・・・4
図４　北部構内ＢＣ33区立合調査出土土器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
京都大学医学部構内ＡＭ20区の発掘調査
図５　調査地点の位置・・・・・・・・・・・・・・・5
図６　縄文土器 (1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
図７　縄文土器 (2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
図８　弥生時代の土器・・・・・・・・・・・・・・11
図９　製塩土器・土師器・緑釉陶器・灰釉陶器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
図10　須恵器 (1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
図11　須恵器 (2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
京都大学病院構内ＡＧ11区の発掘調査
図12　調査地点の位置・・・・・・・・・・・・・・17
図13　調査区北壁の層位・・・・・・・・・・・・19
図14　調査区検出の遺構・・・・・・・・・・・・21
図15　淡褐色土出土遺物 (1)・・・・・・・・・23
図16　淡褐色土出土遺物 (2)・・・・・・・・・25

「塩壷」と俗称されている鉢形製品の検討（下）

図17　対象資料207点が出土した遺構の時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46

図18　対象資料の出土地点・・・・・・・・・・47

図19　厚手鉢形土器の変遷（鴨東地域北部以外・その１）・・・・・・・・・・・・・・50

図20　厚手鉢形土器の変遷（鴨東地域北部以外・その２）・・・・・・・・・・・・・・51

図21　時期別にみた口径の分布・・・・・・52

図22　平等院庭園阿字池西岸出土資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53

図23　先行する時期の遺構出土類似資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54

図24　厚手鉢形土器底部の輪状圧痕と人面墨書土器底部の凹形成型痕・・55

表　目　次

表１　京都大学構内遺跡のおもな調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30

表２　鴨東地域北半における厚手鉢形土器報告資料一覧・・・・・・・・・・・・・・60

第Ⅰ部　2023年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第１章　2023年度京都大学構内遺跡調査の概要
第２章　京都大学医学部構内ＡＭ20区の発掘調査
第３章　京都大学病院構内ＡＧ11区の発掘調査

第Ⅱ部　京都大学大学院文学研究科附属
文化遺産学・人文知連携センター
京大文化遺産調査活用部門紀要Ⅴ

「塩壺」と俗称されている鉢形製品の検討（下）

伊藤淳史

京都大学構内遺跡調査研究年報　2023年度

図　　版

１　京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点

２～３　京都大学医学部構内ＡＭ20区の発掘調査

４～５　京都大学病院構内ＡＧ11区の発掘調査

2024年3月31日　発行

京都大学構内遺跡調査研究年報
2023年度

編集
発行
京都大学大学院文学研究科附属
文化遺産学・人文知連携センター
京大文化遺産調査活用部門
京都市左京区吉田本町

印刷
製本
三星商事印刷株式会社
京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町300